

## 「遊び」を通して世代間交流

# 「冒険広場」に来ませんか

那珂川町近郊の住民約三十人が、冒険広場などでの遊びを通して子どもの健全育成と世代間交流を図ろうと「博多南遊YOU会」（春田智明会長）を旗揚げ、活動を始めている。

### 那珂川町 住民グループ旗揚げ

同会は二月一日に発足。同二十三日に同町内の観音山で開催した「一日ブレイパーク」には、小学生から七十代の男性まで約九十人が参加。木の枝に滑車をつけて子どもをロープでつり上げる

「あがるバンジー」や、木と木の間を結んだロープにぶらさがる「モンキロープ」、「秘密基地」などを作った。

会社員の笠原良三さん（三〇）同町観晴が丘には、「あがるバンジー」で長女の榛華さん（二）を高さ七メートルまでつり上げて、悲鳴を上げる榛華さんに「大丈夫、大丈夫」と声をかけ得意げ。地面に降りた榛華さんは「山にはたまに遊びにきていたが、こんな遊び方は初めて。怖かったけど面白かった」とほっとした表情を浮かべた。

春田会長は「休みの日に家の中でころころしているお父さんたちに活躍の場を与え、いろんな世代が交流できる場にした」と話し、今後も冒険広場をはじめ、手芸、工作などの催しを開く予定だ。



一日冒険広場で木の枝とロープを使って子どもをつり上げる博多南遊YOU会のメンバー